2009年（平成21年）
2月18日号 №211
こちら119
年7回(4・6・8・10・12・1・2月)発行
発行 市川市消防局
〒272-0021 市川市八幡1丁目8番1号
TEL 047-333-2111㈹ FAX 047-333-8181
ホームページ http://www.city.ichikawa.chiba.jp/fire/

消防ナレホンガイド
☎ (333) 3636
火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

火災・救急件数（1月末日現在）
◆火災 13件【前年比 -1件】
◆救急 1,621件【前年比 -17件】

平成20年中災害出動統計

（平成21年1月1日現在）

火災は同数 救急は減少

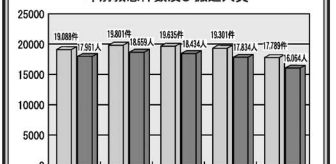
平成20年中の救急統計

救急出場件数3年連続減少

平成20年中の救急出場件数は、17、789件で、平成19年との比較では、1、512件減少しましたが、1日平均49件、30分に1件の割合で救急車が出場したことになります。また、搬送された方は、16、064人で市川市民29人に1人が救急車で搬送されたことになります。

近年、高齢化の進展や核家族化の増加など社会情勢を反映して増加傾向にあった救急件数ですが、3年連続で減少いたしました。これは、昭和28年の救急業務開始以来、3年連続の救急件数の減少は初めてのことです。

傷病程度をみると軽症が全体の約54%、入院治療が必要な中等傷が約37%、重症・死亡が約9%となっており、まだまだ軽症の割合が高くなっていますが、市民のみなさんが救急車の適正利用についてご理解、ご協力をいただいた結果が出てきているものと考えられます。



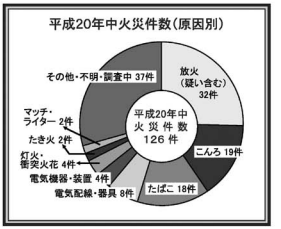
平成20年中の火災統計

平成20年中に発生した火災件数は126件で、平成19年の126件と同数でした。

昨年発生した火災件数を種別ごとに見ると、住宅など建物が燃えた「建物火災」が80件発生し、次にゴミ集積場のゴミや枯れ草などが燃えた「その他火災」が36件、車やバイクなどが燃えた「車両火災」が10件発生しました。

「建物火災」は、火災件数全体の6割以上を占めていて、特に戸建住宅やアパート、マンションなどの共同住宅といった一般家庭からの出火が多くなっています。

また、火災により亡くなられた方は3名で昨年より2名少なく、負傷者は37名で昨年より7名増加しております。いずれにしても尊い命が犠牲になっています。



火災原因トップは17年連続で放火

昨年、発生した火災を原因別にみると一番多かったのが放火（疑いを含む）32件で、続いで、コンロ19件、たばこ18件で、これら3つの原因が毎年上位を占めています。

火災の発生を防ぐため、「家の周りには燃えやすい物を置かないようにする」「調理中はコンロから離れない」「寝タバコやタバコの投げ捨ては絶対しない」など、一人ひとりが注意して火災予防に努めましょう。

春の全国火災予防運動

―― 3月1日～7日 ――

「火のしまつ 君がしなくて 誰がする」

3月1日（日）から7日（土）の一週間、全国一斉に「春の全国火災予防運動」が実施されます。

この運動は、これから春先にかけて、気温が変化しやすく空気が乾燥し、火災の発生しやすい気候となるため、市民のみなさんの火災予防に対する意識を高め、火災から尊い生命と大切な財産を守ることを目的として行われます。

消防局では火災予防運動の一環として、消防総合訓練や防火ポスターの掲示などを行い、火災予防を呼びかけます。

みなさんも火の取り扱いに十分注意して、火災予防にご協力をお願いします。

消防総合訓練

火災予防運動の一環として、施設の自衛消防隊と消防職団隊による総合訓練を行います。

【日時】
平成21年3月1日（日）
午前10時30分開始

【場所】
介護老人保健施設「市川あさひ荘」（大町537-10）

【内容】
自衛消防隊による避難誘導訓練、消防職・団員による救助救出訓練、一斉放水など

問い合わせ
北消防署
☎374・0119

子供と高齢者を火災から守ろう！

最近、毎日のようにテレビや新聞等で火災事故のニュースが伝えられています。建物火災のなかでも住宅火災が圧倒的に多く、その住宅火災で亡くなられた方の約6割が65歳以上の高齢者です。高齢化社会が進むにつれて、高齢者だけの世帯やひとり暮らしの高齢者や核家族化の進展により、子供たちだけで過ごす時間が増えたことによって火災発生の危険度は増加傾向にあります。

一番の原因は「逃げ遅れ」

高齢者に限らず火災で亡くなられる原因で一番多いのが「逃げ遅れ」です。火災の発生時間をみると、睡眠時間帯である22時から翌朝6時までの時間帯の死者が約半数を占めており、火災の発生に気づかないために、逃げ遅れて亡くなる方が多いようです。火災に気がつくのは、煙や炎を見たり、物が焦げる臭いを感じたり、パチパチと火が燃えているような音が聞こえるなど、五感によることがほとんどですが、高齢者の場合には視力や嗅覚、聴力が低下し、火災に気づくのが遅れてしまったり、判断力や体力の低下により、万が一のときにすばやい行動が取れないことも考えられます。また、子供達だけで在宅の場合も判断力がなく、すばやい行動ができないことも多くあるため、住宅用火災警報器の設置で火災の発生を早く知り、できるだけ早く逃げることができる環境を作ることが、逃げ遅れによる被害者を減少させる有効な手段です。

「着衣着火」も増加しています

調理中にコンロの炎が身につけている衣類に燃え移る「着衣着火」も多く、他にもろうそくや冬場に使用する暖房器具なども原因になっています。衣類は一般に燃えやすい素材の商品が多いので、火気を扱うときは衣類に燃え移らないよう十分に気をつけなければなりません。また燃えにくい防炎製品を使用することもひとつの方法です。

悪質な訪問販売に注意！

消火器と同様に、高齢者を狙って住宅用火災警報器などを高額な値段で勧誘し強引に販売をする悪質な訪問販売には注意してください。消防職員が住宅防火訪問などでご家庭に伺うときは身分証明書として消防手帳を提示しますので確認をお願いします。「おかしいな」と思ったら、すぐに近くの消防署や消防局予防課まで連絡してください。

隣近所の協力体制を作る

もし火災が起きてしまった場合は、「火事だ！」と大声で叫んだり、大きな音を出したりして周囲に火災を知らせて助けを求めましょう。万が一のときには、家族はもちろんのこと隣近所で助け合える関係になっていることが大切です。ふだんから隣近所の協力体制を作り、地域ぐるみで防火対策を万全にしましょう。

東洋蘭チャリティー展示会

【日時】
平成21年3月7日(土)・8日(日)
午前10時～午後4時

【場所】
八幡1丁目8-1　市川市消防局
5階ホール

【主催】
消防局
花と緑の愛好会・市川東洋蘭愛好会

地域の安全と安心を守る 消防団員募集

応募資格　市内居住または市内で勤務をしている18歳以上の方

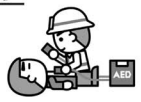
問い合わせ　施設装備課
電話 333-2154（平日 午前9時～午後5時）

上級救命講習

○日　時　平成21年3月15日(日)
午前9時～午後4時

○場　所　八幡1丁目8-1
市川市消防局
5階ホール

○定　員　30名(無料)　普通救命講習Ⅰ受講済みの方のみ
※申込みは、平成21年3月7日(土) 午前9時から受付を開始します。
消防局　電話　333－2111（代）



～あなたの勇気が命を救う～

老朽化消火器の（廃棄消火器）取次業務を廃止します

消防局では、平成13年から、ご家庭で不要となった老朽化消火器の処理取次業務を消防署及び消防出張所を窓口として実施してまいりましたが、諸般の事情により、平成21年4月1日から、取次業務を廃止することとなりました。

消火器の廃棄は、一般ゴミとして処理することはできません。

市内で処理可能な主な店舗や業者は消防局のホームページ又は予防課までお問い合わせください。

処理費用や条件は、各店舗等により異なりますので、複数の店舗等にご確認ください。

本体が腐食した消火器を使用すると破裂する恐れがあります。

経過年数や保管状況を再確認しましょう。

（問い合わせ）
消防局　予防課
電話　３３３－２１１６
（平日　午前9時～午後5時）